

# 議会だより

2012.1.25

66号



## 球磨村消防団 出初式

1月5日、総合運動公園で消防出初式が開催されました。  
各分団、日頃の訓練の成果を十分に発揮し、結果は第6分団の総合優勝でした。

球磨村世帯数 1,627世帯  
人口 4,420人・男 2,095人・女 2,325人  
(H23年12月31日現在)

発行……球磨村議会

編集……球磨村議会広報特別委員会

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel (0966) 32-1111

## 目次

12月定例議会 …………… 2～3

一般質問 …………… 4～7

旬の話題 …………… 8

# 12月定例議会

## こんなことが決まりました。



平成23年第9回(12月)議会定例会は、12月13日から16日までの4日間の会期で開催されました。  
 上程された議案は7議案で、慎重に審議され、いずれも原案のとおり可決、同意、承認されました。  
 一般質問には4名の議員が登壇、行政課題・施策などを村執行部に質しました。

定例会初日には、9月定例会以降の諸般の報告、監査報告、会議録署名議員の指名、会期を決定後、一部事務組合議会(人吉球磨広域行政組合、人吉下球磨消防組合)の報告が行われました。続いて、専決処分事項報告承認、

(熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更)から、暴力団排除条例の制定、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定、平成23年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算案の議案が上程され、柳詰村長から提案理由の説明がありました。

14日は、自宅審議のため休会。定例会3日目の15日には、一般質問に4名の議員が登壇、最終日には、専決処分事項報告承認ほか、球磨村暴力団排除条例の制定、球磨村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定、平成23年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算案、球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意2件が審議されました。

### 承認

○承認第7号  
 ・専決処分事項報告承認  
 (熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について)  
 熊本県市町村総合事務組合を構成する団体の脱退、解散によるものです。

### 条例

○議案第33号  
 ・球磨村暴力団排除条例の制定  
 本村からの暴力団の排除に関して、自主的、積極的な施策等を実施する根拠とするものです。

○議案第34号  
 ・球磨村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定  
 災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律が、平成23年に公布・試行されたことによるものです。

改正に内容は、これまで災害弔慰金の支給対象遺族に含まれていなかった兄弟

### 補正予算

○議案第35号  
 ・平成23年度球磨村一般会計補正予算(第5回)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、8,983千円を追加し、歳入歳出予算の総額を31億04,686千円とするものです。

姉妹が加えられるものです。ただし、支給の条件等が定められています。

歳出の主なものとして、総務費では、光ケーブル共架乗せ替え工事請負費2,155千円、産交バス運営補助金に1,816千円を計上、一方、民生費では、障害者福祉サービス費等の実績見込みにより9,950千円を減額するものです。老人福祉費においては、介護保険特別会計への繰り出し金を5,504千円減額、また、児童福祉費では、乳幼児の途中入所児童の増加により8,280千円を保育所運営費に計上しました。衛生費では、インフルエンザ予防接種、子宮頸がんワクチン接種等の

増加を見込み2,000千円などを計上しました。

○議案第36号

・平成23年度球磨村介護保険特別補正予算(第3回)

歳入歳出予算総額からそれぞれ、38,334千円を減額し、歳入歳出総額を6億23,022千円とするものです。

歳出の主なものは、居宅介護サービス給付費ならびに施設介護サービス給付費を合わせて、50,000千円を減額するものです。特定入所者介護サービス費では、給付増が見込まれるため5,418千円を増額しました。また、前年度繰越金の一部を基金積み立とするため5,499千円を増額計上しました。

人事

○同意第4号

・球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について

球磨村固定資産評価審査委員会委員に、次の方が選任同意されました。

大坂間 茂 氏(柳詰地区)

○同意第5号

・球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について

同じく、球磨村固定資産評価審査委員会委員として、次の方が選任同意されました。

横井 哲夫 氏(横井地区)

新年のご挨拶



球磨村議会議長  
柳詰 正治

平成二十四年の新春にあたりまして、球磨村議会を代表して謹んでごあいさつ申し上げます。

村民の皆様には、日頃から議会活動に對し、ご理解・ご支援とご協力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年三月に発生した東日本大震災がもたらした爪痕は、東北地方の方々だけではなく、遠く私たちの心身に大きな傷跡を残しました。

被災地の一日も早い復旧・復興を念願するとともに、今年こそは日本が元氣を取り戻し、明るい夢や希望を抱ける年になりますことを心から願っております。

世界的に危機的な経済状況が続くなか、日本経済も依然として先行きが不透明なまま新年を迎えることとなりました。

地方行政におきましては、地方分権型社会の進展を受け、自己決定・自己責任による地方自治体運営が求められるなど、まさに地方行政の真価が問われている時代といっても過言ではありません。更に、昨年、国において、地域主権改革関連三法が成立しました。今後、ますます地方自治体の自主性や主体性が高まるのに伴い、二元代表制の一翼を担う、議会の果たすべき役割も一層重要になってまいります。

村民皆様の代表である村議会といたしましては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、村づくりの主役は村民の皆様であることを第一に、安全で活力と思いやりのある、より豊かな球磨村が実現いたしますよう議員一丸となって取り組んでまいります。

引き続き、村民皆様のなご一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。結びに、村民皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申しあげまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成二十四年一月

# 十二月定例 一般質問

## ふれあいまつりの開催日の変更を

長  
集客に大きな影響が出  
てきます

田代 利一議員

- 一、国道の危険箇所について
- 二、地域資源を生かした活性化について
- 三、ふれあいまつりについて
- 四、体育・文化について
- 五、シルバー人材センターの利用状況について

田代議員

|| 国道219号線には、ま

だ多くの危険箇所があります。今年も6月と7月の豪雨により、のり面の崩壊や道路の陥没が発生し、住民生活に多大な影響がありました。特に、馬場〜椎屋入口間の洞門内では、雨水で冠水し通行止になりました。そこで、洞門内の冠水対策について、どのように

県の方に要望されているか伺います。

村長

|| 洞門の、すぐ人吉寄りの溪流より土砂が流入し、その雨水が洞門内の低い所にたまり通行止になりました。県の方へは、洞門内の排水施設が

1箇所しかありませんので、施設の増設を要望しているところです。

田代議員

|| 洞門内は、去年も冠水

しました。水がたまる原因として、一つしかない排水施設に木片が引っかかったままの状態です。その木片を取り除くと、水はいくらか引くと思います。また、排水施設を増やせば、水はたまらないと思いますのでよろしく願います。

建設課長

|| 洞門内の冠水について

は、水がたまらない対策を、再度、県にお願いしたいと思います。

田代議員

|| 次に、鵜口観音堂周辺の整備について、竹林がじゃまになっ

て、せつかくの景観があまりよくありません。竹林の半分ぐらいいは、伐つていいのではないかと思いますが。

村長

|| 全伐との意見もあると思いますが、竹林の上には住宅もありますので、特に風が心配になってきます。竹林の整備については、間伐をしていき

たいと思います。

田代議員

|| 次に、ふれあいまつりと

駅伝大会が、今年も10月に実施されました。ただ、10月は農繁期で忙しい時期になります。できれば、開催日をずらしていただきたいと思っています。

村長

|| ふれあいまつりを、10月に実施している理由のひとつは、他の町

村などのイベントと重ならないためです。例えば、五木村や錦町などと開催日が一緒になると出演するタレントに支払する予算が、球磨村の方が少ないので、集客に大きな影響が出てくると思います。

田代議員

|| 予算が少ない

のであれば、ふれあいまつりを2年に1回にするとか、そのような方法も考えられます。駅伝大会の方は、どうですか。

村長

|| 10月に行われる大会が、12月に行われる郡一周駅伝大会の選考会も兼ね

ているということ、それなりの意義があると思っています。分会長からも10月にといい意見がありましたので、今年も10月に実施しました。来年からの実施の

時期についても分会長の意見を重視して実施することになります。

田代議員

|| 郡一周駅伝大会は長い距離で、村内駅伝大会は短い距離

なので、私は選考にはならないと思います。分会長の意見も大切だと思えます。変更してほしいとの村民の意見もありますので、体育協会の会議でも、このような意見が出たことは伝えて下さい。

(質問時間60分)



大雨時に冠水した馬場〜椎屋入口間にある洞門

## 婚活、交流会窓口の設置はできませんか

町村、団体との交流会を進めながら、予算や窓口を考えなくてはと思います

毎床 文博議員

- 一、産業振興について
- 二、定住促進について

毎床議員

村長の施政方針として、本村の豊かな地域資源を見直し、基幹産業の農林業を基軸とした観光産業を推進するとあり、農地の保全対策として「棚田まるごと博物館」事業の立ち上げや地域資源を活かした活性化対策に取り組みとありますが、新たな産業振興施策について伺います。

村長

農地の保全、生産性の向上を図る目的で、国の中山間地直接支払制度などの補助事業に加え、新たに棚田応援隊を組織し、地区との地域協定をもとに作業を進めています。事業効果は、放棄されていた農地の再生が図られ、地域の意識も変わり協働した活動と生産意欲の高揚

ができたと思います。

毎床議員

農林業の活性化促進の一つとして体験交流を推進されていますが、実績を報告下さい。また収穫体験は銘柄品も多くありますが、加工についてもブランド品の開発と商品化、併せて集荷システムの具体化を伺います。

産業振興課長

体験交流は、平成22年度が、収穫体験373人・加工体験116人、平成23年度が、収穫体験209人・加工体験298人で収穫体験は果実主体です。加工品として製品化されたものは63品目があり、特産品として毎年1品の開発をお願いしてきました。

村長

体験活動は、果実だけでなく他の農林産物も導入し、拠点化を進めながら加工も含め積極的に活動していく必要があります。

農産物の販売は、生産者協議会的なもの

を立ち上げ品物をいつの時期に安定的に供給できるか、使用者側との情報を交換しながら、年間のスケジュールに基づく新たなシステムの構築に取り組みます。

毎床議員

最終的には加工も大事ですが、生産者にお金になることが全体

的な普及となるので、生産品目の奨励推進をお願いします。

次に、本村には国際的な観光資源もありますが、ローカルな面での資源開発として、村花である山桜を公園化や里山開発に活用できないか伺います。

村長

資源を村民が認識し、地域の皆様が活性化の柱として見直し生かすことも大事です。群生的に山桜の里をつくるのは面白い提案で、今後、景観的な場所などの検討が必要です。

毎床議員

次に、定住促進について、本村でも働く場と生活の利便性を求めて都市化が強まり、本来の担い手は減少の傾向にあります。

今後、地域伝統行事などの維持が危

惧されます。生活環境の整備、企業誘致など定住促進対策について伺います。

村長

人吉球磨の10市町村で企業誘致連絡協議会を構成し、情報の交換共有など連携して企業誘致を進めています。県にも要望していますが厳しいのが現実です。本村の誘致企業として錦江ファームが進出しています。

毎床議員

次に、婚活、交流会の企画支援について、将来を担う若い後継

者は独身者が多く、郡市・県を視野にいた婚活の企画で出会いが深まれば成婚も期待出来ます。交流会などの受け皿として窓口の設置はできないか伺います。

村長

交流会などは、各町村で連携し広域的に進める意見も多くあり、あらゆる機会を捉えて出会いの場をつくるなど、積極的に取り組めます。窓口としては、総務企画に予算化はしています。農業だけでなく全体的に町村、団体との交流会を進めながら、予算や窓口を考えなくてはと思います。

(質問時間50分)



10月に行われた稲刈り体験交流会

# 有害鳥獣被害に対し抜本的対策が必ずやではないですか

## 長 農林業を振興する中で積極的に取り組みます

高澤 康成議員

- 一、有害鳥獣対策について
- 二、休耕田対策について
- 三、特産品販売の実績について

高澤議員

有害鳥獣による農林業にかかる被害の防止策としてさまざまな事業や補助が行われておりますが、まだまだ効果が得られていない状況であり、抜本的な対策を講じる必要があると思っておりますが、実績とその効果、今後の対策について伺います。

村長

本年度は900万円の予算を計上しており、捕獲に対する助成金、害獣駆除隊の出務補助、駆除以外の対策として電柵設置による補助、林業では間伐実施後のネットの設置も助成対象になっております。今後、農林業を振興する中で、積極的に取り組みます。

高澤議員

現在628頭が捕獲さ

れたとの事ですが、生息数が漠然とした中で担当課として効果が得られているかどうか見解を伺います。

産業振興課長

鹿等を見なくなつたという事を聞いており、年間を通じた駆除の成果であると考えています。

高澤議員

網を張り、中で作業するのは人間で網の外で猿が柿を食べています。人間と猿との知恵比べで踏み込んで進めて頂きたいと思っております。

村長

モデル的取組として、内布地区に農地の周辺を金網で囲む事業を実施しており、全国的な問題でもあります。見極めながら進めていきます。

高澤議員

次に休耕田（耕作放棄地）対策について、休耕田あるいは、耕作放棄地の原因は、後継者不足、高齢化、有害鳥獣被害、不利な立地条件等挙げられますが、球磨村の産業は第一次産業が主と言われるなか、農業所得の向上策を伺います。

村長

平成22年度耕作放棄地は約900ha、現在の米の作付状況を見ますと、毎年2〜3%減少しており、5年後には15〜20ha、10年後には30〜40haの減少となり、場合によっては米の作付面積は100ha前後

になり、耕地の荒廃など柵田まるごと博物館を中心に地域の協力を頂きながら進めていかなければならないと思っております。

高澤議員

柵田まるごと博物館事業で行った面積は約2haとその解消率、耕作面積の減少率をデータ化、分析し、目標設定しなければ耕作放棄地解消につながらないのではないですか。

産業振興課長

データをもとに分析や対策を立てることは、非常に大事なことと思っております。

高澤議員

特産品販売の実績についてかわせみ物産館運営は、担当者の努力により黒字のようです。物産館の目的は、生産者消費者との交流を通じ地域の活性化及び経済効果に寄与する事です。村内外の仕入れ割合と販売実績を伺います。

産業振興課長

村内仕入42%、村外仕入58%で売上額は約4200万円です。



内布地区で実施している鳥獣被害防止事業

高澤議員

後継者不足、高齢化、有害鳥獣被害、不利な立地条件などの問題を解消し生産意欲を向上させる策が必要と考えますが。

村長

抜本的に考える必要があります。知恵を出し合い支援をすることがあれば積極的に取り組みたいと思います。

(質問時間60分)

# 運動公園のトイレの洋式化を

## 長 運動公園に限らず年次計画で考えていき 村 たい

### 舟戸 治生議員

一、河川の指定と管理について  
二、公衆トイレについて

### 舟戸議員

河川には、一級河川、二級河川、準用河川、普通河川がありますが、村内に關係ある猪鼻川、馬水川、鶴口川、八久保川、小川には指定があるのか。また、河川管理はどこがするのか伺います。

### 村長

河川の指定と管理については、国の直轄の一級河川の球磨川とその球磨川と合流する9つの河川のうち37キロメートルが含まれます。県が指定管理する二級河川は、村内にはありません。二級河川以外が準用河川で一級河川の上流部になります。普通河川は、河川法の適用を受けない河川で、山口川や峯川で村が管理をしています。猪鼻川は準用河川です。

小川も河口から糸原までは、一級河川で、糸原から境目までは準用河川、境目からは普通河川になります。大槻地区の河川改良したときは、砂防工事があり県が管理しました。

### 舟戸議員

普通河川の山口川について昨年も一般質問で取り上げましたが、地元で清掃にいきたいが、じゃかごが腐食した状態です。魚道もコンクリートが倒れ上流の道も側溝がなく、相当の水が流れ込んでいます。河川の環境整備や保全ができていないと思います。

### 建設課長

維持管理的なものが多  
少ありますが、草刈り等、維持管理について進めていきます。

### 舟戸議員

豪雨時の峯川の増水により濁流が水田に入り込んで水田の表土を流してしまいます。所有者は表土を入れ直し、新たに植え替えや場所次第では土のうを積んで対応されています。河川の環境整備や保全ができないか伺います。

### 村長

水田の表土を流して、別の水田が荒れるということであれば、調査し、予算の範囲内で整備を行います。今村地区の用水路も関連しており、健康衛生課、また建設課、産

業振興課と合同で地元と一緒にあって県に要望することにしております。座談会で話を進めていきますので地元での合意をいただきたいと思  
います。

### 舟戸議員

次に観光振興のため、村で管理するトイレの整備が必要と感じますが。

### 村長

観光用のトイレとしては、堤岩戸の水洗トイレや一勝地駅の水  
洗トイレがあり、渡駅の構内にも、くみ取り式のトイレ  
があります。

### 舟戸議員

特に、渡駅のトイレに関しては、一般の家庭の水洗トイレが普及している中、くみ取り式です。観光地として水洗トイレにできないか伺います。

### 村長

JRの土地ですので、むずかしい面があります。観光的なトイレとして、本当に必要であれば考えていかなければいけないと思

ます。

### 舟戸議員

総合運動公園の下のグラウンドには障がい者トイレがありません。せめて、和式を洋式に変えることはできませんか。

### 村長

運動公園に限らず、村が管理する公衆トイレについては、年次計画をしながら洋式化を進めていく必要があると思います。

(質問時間50分)



洋式化が望まれる運動公園トイレ

旬の話題

# 田舎の体験交流館「さんがうら」収穫感謝祭

グリーンツーリズム研究会会長 大無田満浩



しめ縄作り

昨年7月より本格オープンした田舎の体験交流館「さんがうら」、宿泊客も現在まで520人を数え順調な滑り出しを始めました。

地元住民でもあり、旧一勝地第二小学校卒業生としても喜ばしい限りです。「さんがうら」では、毎月のようにイベントが行われていますが、昨年最後のイベント・収穫感謝祭が12月18日に行われました。

地元で作られたもち米を使つての餅つき、地元名人のご指導の下に正月用のしめ縄・門松作りを、参加されたお客さん



つるし柿作り

や、運営委員の皆さんと賑やかに製作しました。

夕方からは、理事・運営委員に加え、万江みどりコンサートで「さんがうら音頭」を踊って頂いた皆さんとの忘年会を行い、初年を振り返つての話や来年に向けての話が、焼酎を酌み交わしながら時間延長で盛り上がりました。

私たちグリーンツーリズム研究会も「さんがうら」のイベントのサポートをやってきましたが、これからはサポートするだけでなく、共に盛り上げる活動を行つて参りたいと思います。

(訂正)  
前回、発行した議会だより(65号)の嶽本孝司議員の一般質問の中で「団地内に九電の電柱が4本あります。そこに外灯を希望されておられますので再度、検討をお願いします」と記載しましたが、実際には、このような発言はなく誤って編集しましたので訂正しおわびします。

## 編集後記

明けましておめでとうございます。今年も議会広報をご愛読いただきますよう、よろしくお願ひします。

12月の「漢字の日」に、その年の世相を表す一字が「絆」と発表されました。これは、東日本の大震災などを始めとした災害で再認識され、家族・仲間・地域とのつながりの大切さや、全国から寄せられた励ましの支援などが、まさに「絆」に込められた一字だと感銘しました。

村民皆様も強い絆を深められ、本年が希望ある明るい年となりますようご祈念をいたします。

(毎床 文博)

- 広報委員長 多武 義治
- 広報副委員長 高澤 康成
- 広報委員 毎床 文博
- 広報委員 嶽本 孝司